

2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 徳島県 】

学校名【 吉野川市立学島小学校 】

1 実践テーマ	I・II・III・IV・V(複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	吉野川市立学島小学校 全学年 116名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 (生活科・総合的な学習)</p> <p>② 行事名 ()</p> <p>③ その他 ()</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ()</p> <p>② その他 ()</p>
4 目 標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・車いす利用者との交流や車いす体験を通して、利用者への理解を深める。 ・車いすバスケットを見学したり体験したりすることにより、競技に対する興味・関心を高める。
5 取組内容	<p>(1) 事前指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○車いすバスケットについての説明と質問内容 ○車いすの操作方法の確認と体験（3～6年） <p>(2) 実践</p> <p>①3・4年生 9:30～10:00</p> <ul style="list-style-type: none"> ○講師自己紹介（どの活動でも） ○車いす体験(一人で) (段差を越える 物をよける) ・6コースで行う。 ○質疑応答, 感想発表 <p>②1・2年生 10:00～10:30</p> <ul style="list-style-type: none"> ○車いす体験 (ペアで) (段差を越える 物をよける) ・6コースで行う。 ○質疑応答, 感想発表 <p>③5・6年生 10:40～12:15</p> <ul style="list-style-type: none"> ○車いすバスケット競技見学 (全学年) ○車いすバスケット体験 練習・試合 ○質疑応答, 感想発表 ○お礼のことば <p>(3) 事後指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○講師先生にお礼の手紙を書こう。





<p>6 主な成果</p>	<p>○成果があったアンケート項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パラリンピックに興味がありますか。 ・将来、パラリンピックにボランティアや応援などで参加したいですか。 ・運動やスポーツをすること、みることに興味がありますか。 ・外国の人々の暮らしや習慣などを調べてみたいと思いますか。 <p>○5・6年生が車いすバスケットを体験して、車いすでのパスやシュートの難しさを体感し、車いすバスケットに興味・関心を持つ児童が増えた。</p> <p>○車いすバスケットの競技を見学することで、車いすバスケットやパラリンピックに興味を持つ児童が増えた。</p> <p>○車いす利用者との交流や車いす体験を通して、車いす利用者が生活しやすいように環境を整えたい等、関心を持つ児童がいた。</p>
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>○講師先生に、3 回各学年の体験の度に自己紹介をしていただくことで、児童は「〇〇先生」と名前を呼んで、親しみを持って交流することができた。</p> <p>○全学年の児童が車いす体験できるように、車いすを用意して1～4年生を6つのコースに分けて、短い時間でそして体験が心に残るようにコース設定を考えた。</p> <p>○全学年の児童が車いすバスケットを間近で見学することで迫力や技能の高さを感じることができ、応援も盛り上がった。</p> <p>○5・6年生は、練習・試合と体験時間をたっぷり取り、車いすバスケットの楽しさや難しさを感じることができた。</p>
<p>8 主な課題等</p>	<p>○体育館にトイレがなく、校舎も段差があってもトイレもせまいので、講師先生には大変ご不便を掛けてしまった。</p> <p>○体育館や校舎に段差があるために、スロープを借りたり用意したりするのに苦労した。</p> <p>○たくさんの方の協力があって、多くの競技用車いすを用意してくださったので、5・6年生がたっぷり体験することができた。この事業でなければ、このような実践は難しいと感じた。</p> <p>○計画から実施までの期間が短かったので、取組内容も直前まで変更するなどして、事前指導が十分に行えなかった。</p>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<p>○この交流を通してオリンピック・パラリンピックの意義や歴史について理解を深めたい。</p> <p>○他競技の選手と交流して、理解を深めたりその競技に興味関心を高めたりする。</p>